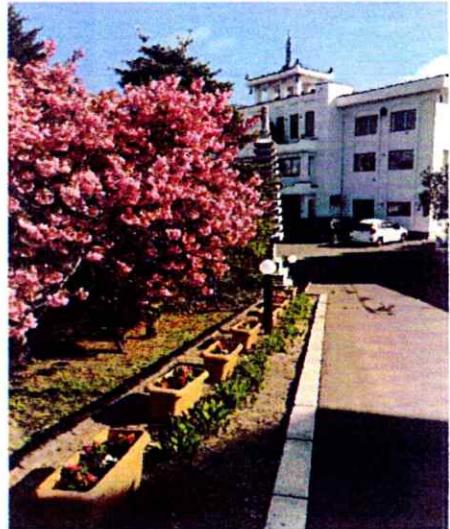


慶讃テーマ 南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう



1. 法事のお経(浄土三部経)

浄土真宗の根本聖典は、南無阿弥陀仏の教えを説く浄土三部経すなわち、①仏說無量寿經、②觀無量壽經、③阿彌陀經。

2. 阿弥陀のいのちを生き道を求め続けた苦難の長い歴史

法藏菩薩の歩みにより到達した四十八願、絶望の淵の者(韋提希)の問い合わせを機縁として明かされた釈尊出世本懐の法、そして、その教えに一心に手を合わせることを勧める経。これら、浄土三部経の教え(南無阿弥陀仏)は、まさに、手探りで人生を生きる私達自身、一人ひとりのための法なのである。

法語1 (南無阿弥陀仏は)無明長夜の燈炬なり 智眼くらしとかなしむな
生死大海の船筏なり 罪障おもしとなげかざれ (正像末和讃)

趣意 罪惡深重の身であると自覚された自身が助かる唯一の教えが、この他力本願(阿弥陀仏が私達のために立てられたいのちの願)を信じて称名念佛申すことである。私の内にある阿弥陀のいのち(法藏のいのち)は、世俗の欲を離れて輝いているのに、私といういのちの器が煩惱(我欲)に翻弄されて、いのちの輝きを閉じ込めてしまうのだ、と。

法語 1 弥陀の本願には老少善惡のひとをえらばれず。ただ信心を要とすとしるべし。そのゆえは、罪惡深重煩惱熾盛の衆生をたすけんがための願にてます。

(歎異抄 第一章)

3. 十惡

- | | | | |
|---------|-----------|------------------|-----------|
| ①殺生 | ②偷盜(盗み) | ③邪淫----- | 身業(身体的行為) |
| ④妄語(偽り) | ⑤綺語(ざれごと) | ⑥惡口⑦両舌(二枚舌)----- | 口業(言語行為) |
| ⑧貪欲 | ⑨瞋恚 | ⑩愚痴----- | 意業(精神的行為) |

4. 仏教は行為を三つの側面から押さえる

宗教は、内面の罪と外面の罪を区別しない。ここで思ったことと、実際におこなったことは同じ重さなのだ。内面で思ったことが行為に表現されるかどうかは、「宿業」が決定することだからである。それが表に現れるか現れないかの違いであって、罪の重さは変わらない。